

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	19087	都市計画道路整備事業(野村布気線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計
	基本施策	09:道路網の整備	務	款
	施策の方向	01:幹線道路の整備	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	03:道路新設改良費
事業予定期間	H 18 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等	道路法、道路構造令	

② 目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	県道亀山関線と併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる当路線を整備することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進を図る。
概要	概要	・施工延長 L=900m ・幅員16m(2車線 両側歩道) 長田池橋梁(工法については、平成27年度中に実施手法を検討)

		平成27年度	平成28年度			
③ 事業の計画	年度別事業計画	工事(排水路等) 用地買収	工事(排水路) 道路改良工事(その3) 用地買収(後金)			
		事業費	539,800千円	411,200千円		
	計画額	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	509,700千円	387,500千円		
		その他				
		一般財源	30,100千円	23,700千円		
	予算額	事業費	485,516千円	409,580千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
地方債		460,000千円	387,500千円			
その他						
		25,516千円	22,080千円			
期間内総事業費(H27・H28)①		951,000千円	期間外事業費(H29以降)②	870,900千円	総事業費 (①+②)	1,821,900千円

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)		
④ 指標	①	名称	整備進捗率	活動	計画値	30	43	86
		補足	実施済み事業費/総事業費		単位	%	%	%
	②	名称			計画値			
		補足			単位			
	③	名称			計画値			
		補足			単位			
	④	名称			計画値			
		補足			単位			

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	19087	都市計画道路整備事業(野村布気線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務	款 08:土木費
施策体系	施策の方向	01:幹線道路の整備	科	項 02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	-	目	目 03:道路新設改良費

②目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	県道亀山関線と併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる当路線を整備することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進を図る。
概要	・施工延長 L=900m ・幅員16m(2車線 両側歩道) 長田池橋梁(工法については、平成27年度中に実施手法を検討)	

		27年度	28年度
①	名称	整備進捗率	計画値 30
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値 28
			単位 %
②	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
③	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
④	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	

年度計画				年度実績				
工事(排水路等) 用地買収				工事(排水路等) 用地買収				
④事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額 539,800	予算額 485,516	決算額 421,142	総人件費 ①	1,365	平均給与額×③
		国庫支出金	0	0	0	一般職員人件費 ②	1,365	
		県支出金	0	0	0	所要人員 ③	0.18	
		地方債	509,700	460,000	396,923	臨時職員人件費 ④	0	
		その他	0	0	0	受益者負担額 ⑤		
		一般財源	30,100	25,516	24,219	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再	翌年度への繰越額		60,200			
		掲	前年度からの繰越額		0	0		
			総人件費		①	1,365		
			総コスト		⑥	422,507		

⑤事業の評価	【事業の成果】	用地買収の残件の企業1社と交渉を行い、市道野村布気線整備事業に関する確認書を締結することが出来た。また、企業が望まれている代替地の所有者の方との交渉も進め、理解を得る事が出来、今後契約を行っていく。長田池橋梁工法について、水利組合との協議の中で、工法変更にご理解を得る事が出来た。排水路等(延長L260m)の工事については、順調に工事の進捗が図れた。	総合判定
			B まずまず進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	長田池の工法変更には理解を得る事が出来たが、今後、丁寧な説明と、相手の希望も聞きながら調整を行っていく。
	【改善の方向性】	平成30年度完成を目的に向け、用地買収が完了している区間と流末排水路の工事を進めていく事で、早期完成を目指す。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳
--------------	---------	-----------------------